

公共交通市民の会 第15回市民のつどい

これでは守れない!



安心・安全・サービス

—市営交通民営化を現場から検証する—

2018年4月市営地下鉄・バスが民営化され10ヶ月が経ちます。

7月には大阪メトログループが夢洲に数百億円を投資して商業ビルを建てるなどの「中期経営計画（～2024年）」を発表しました。

一方で、職員削減が進んでいます。シティバスの運転手不足も深刻です。

市民・利用者の安心・安全・サービスはどのような状況でしょうか。

改札口に駅員が一人配置の場合、車イスや視力障害者の方、急病人発生時、その他のトラブルへの対応をすると、改札口がしばしば無人となっています。

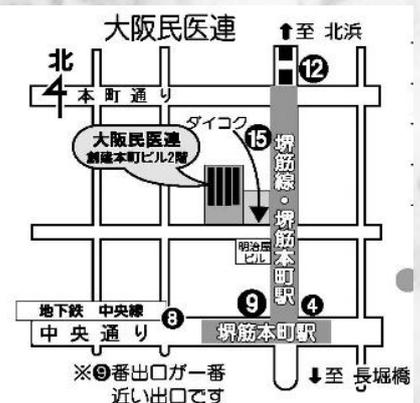
これで震災や浸水など不測の事態に、対応できるのでしょうか。

つどいでは、可動柵や駅調査、防災対策のとりくみを現場から検証して、公共交通の改善を求めています。

1月26日(土)

午後1時30分～4時

大阪民医連会議室



《参加費無料》

主催：大阪市の公共交通を発展させる市民の会 ☎06-6354-7207

共催：つくろう!市営のコミュニティバス大阪市民ネット